



# 第11回 ASSIST勉強会

テーマ①「冬期講習」

# ◆本日のテーマ

---

1. 学年・科目別成績の上げ方
2. 小学生の冬期講習
3. 高校生の冬期講習
4. 継続を意識する

# ◆科目別成績の上げ方

## ■目標を明確にする

直近の目標	内容
冬休み明けの学年末テスト（中1，2）	学年末テストの範囲を学習
入試（中3、高3）	数学・理科・社会に力を入れる （語学は短時間で伸びにくい）
次学年を見据えた指導（小学生）	次学年の重点学習内容につながる 学習価値をつける
入試（高1，2）	大学受験を視野に入れたカリキュラム

# ◆科目別成績の上げ方（中1、2）

- 提案内容…学年末テストで評価を上げて、入試判定につながる内申点の強化
- 成績標準以上…冬期テキスト、または夏期テキスト
- 成績下位層…冬休みから期末テストの準備スポット学習

科目	3学期の授業内容の予習をする。
国語	教科書準拠ワーク(読解問題はやらない) 日本教材出版(新ワーク・必修テキスト・栄光ワーク・NEW BASIC・教科書マスター・スパイラル)
数学	Winpass(3学期の予習) ・例題、基本問題を何度もやる。 ・問題、答えを暗記するくらいやる。
英語	Winpass(3学期の予習)＋本文暗記テスト シャッフルテストで新出単語の暗記 中1の英語が抜けている人はそこから。 倍の時間を取らないと追いつかない。
社会	Winpass(2学期の復習は不要。3学期のテスト対策に特化)
理科	winpass(2学期の復習は不要。3学期のテスト対策に特化)

# ◆科目別成績の上げ方（中3）

■提案内容…即得点が上がる科目に集中する

成績標準以上…科目を均等に入試問題過去問（第5回のビデオ参照）

成績下位層…数学、理科、社会で平均点を目指す。

科目	理数・暗記科目を重点に。語学は時間がかかるので直前には向かない。
数学	基礎力定着テスト (1枚ずつ1枚目ができるようになったら2枚目に。)
理科	1分野…数学が得意な生徒はこちらから 2分野…数学が苦手な生徒はシャッフルテスト ⇒winpassで練習(確認問題・ポイント演習・図解によるまとめ) は満点取れるくらいやりこむ。
社会	シャッフルテストを全問できるように、ひたすら反復 ⇒winpassで演習(確認問題とビジュアルチェック) は満点取れるくらいやりこむ。

# ◆科目別成績の上げ方（中3）

中3基礎力定着テストα1 時間20分 名前 /26

1 【正負の数 / 3点】以下の計算をしない。

(1)  $-4 + 6 = 2$

(2)  $-3^2$

(3)  $\frac{1}{3} - \frac{1}{2}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2 【文字式・多項式の計算 / 3点】以下の計算をしない。

(1)  $4x - 3y + 2x + 5y$

(2)  $3x \times 4xy$

(3)  $\frac{m+3n}{2} + \frac{4m+n}{3}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

3 【方程式・連立方程式 / 3点】次の計算をしない。

(1)  $7x - 16 = 19$

(2)  $\begin{cases} x + y = 8 \\ x - y = 2 \end{cases}$

(3)  $\begin{cases} 3x + 2y = 8 \\ 2x + 3y = 2 \end{cases}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4 【小問集合 / 8点】以下の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 7より小さい自然数は全部で何個あるか。 \_\_\_\_\_

(2) 2から始めて、2, 5, 8と3ずつ離れた数を並べていく。○番目の数を○で表せ。 \_\_\_\_\_

(3)  $3x + 2y = 1$ をyについて解きなさい。 \_\_\_\_\_

(4) 2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の数の和が7になる確率を求めよ。 \_\_\_\_\_

(5) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表が出る確率を求めよ。 \_\_\_\_\_

(6) yはxに比例し、x=3のときy=9である。y=18のとき、xの値を求めなさい。 \_\_\_\_\_

m351001

中3基礎力定着テストα2 時間20分 名前 /25

1 【正負の数 / 各1点】以下の計算をしない。

(1)  $8 - 2 \times 3$

(2)  $(-2)^3$

(3)  $\frac{2}{9} - \frac{2}{3}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2 【文字式・多項式の計算 / 各1点】以下の計算をしない。

(1)  $6a - b - 2(5a - b)$

(2)  $-16x^2y \div 8xy$

(3)  $\frac{4a+b}{3} - \frac{3a-2b}{2}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

3 【方程式・連立方程式 / 各1点】次の計算をしない。

(1)  $4x - 9 = -7$

(2)  $\begin{cases} 3x + y = 3 \\ 4x + 2y = 2 \end{cases}$

(3)  $\begin{cases} y = -2x + 5 \\ 3x - 5y = 27 \end{cases}$

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4 【小問集合 / 8点】以下の問いにそれぞれ答えなさい。

(1) 絶対値が3より小さい整数をすべて求めなさい。 \_\_\_\_\_

(2) -2から始めて、-2, 2, 6と4ずつ離れた数を並べていく。○番目の数を○で表せ。 \_\_\_\_\_

(3)  $x - 2y = 1$ をyについて解きなさい。 \_\_\_\_\_

(4) 2つのさいころを同時に投げるとき、出る目の値が奇数になる確率を求めよ。 \_\_\_\_\_

(5) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、表と裏が1枚ずつ出る確率を求めよ。 \_\_\_\_\_

(6) yはxに反比例しx=6のときy=3である。y=-9のとき、xの値を求めなさい。 \_\_\_\_\_

m351001

# ◆科目別成績の上げ方（中3）

暗記テスト範囲				
	社会		理科	
	範囲	合格点/出題	範囲	合格点/出題
9-①	地理(1)歴史(1)	45/50	物理1年	40/43
9-②	地理(2)歴史(2)	45/50	化学1年	40/44
9-③	地理歴史1～2	45/50	物理化学1年	45/50
9-④	地理(3)歴史(3)	45/50	生物1年	40/44
10-①	歴史(4)歴史(5)	45/50	生物2年	40/44
10-②	地理3歴史3～5	45/50	生物1, 2年	45/50
10-③	地理歴史1～5	47/50	地学1年	40/44
10-④	公民(1)歴史全	47/50	地学2年	40/44
11-①	公民(2)地理全	47/50	1, 2年全	45/50
11-②	公民(3)歴史全	47/50	1, 2年全	46/50
11-③	公民(4)地理全	47/50	1, 2年全	47/50
11-④	公民(1)歴史全	48/50	1, 2年全	48/50
12-①	公民(2)地理全	48/50	3年物理/化学1年全	48/50
12-②	公民(3)歴史全	48/50	3年生物2年全	48/50
12-③	公民(4)地理全	48/50	3年地学1年全	48/50
12-④	公民全	50/50	3年全2年全	48/50
1-①	全範囲	50/50	全範囲	50/50
1-②	全範囲	50/50	全範囲	50/50

# ◆小学生運営

---

通塾目的が中学生ほど明確ではなく、成果判定しにくい。

⇒成果判定がわかる題材を用意。

## ■小1～6

「漢字」で漢検チャレンジ

## ■小4～6

冬期テキストで総復習

※漫然とやってはダメ。到達点が見える提案を生徒、保護者に必要。

継続への意識⇒

今年での学習成果のアピール（テスト結果・通知表など）  
次学年の学習不安（フィアアピール）



# ◆小6⇒中1の継続

---

## ■成績上位・中位者

「中学予習講座で先取り学習」

（英語…BE動詞 数学…正負の数）

※先に進めば進むほど、他の塾で学習するメリットがなくなる。

## ■成績下位者

「中学入学を見据えたカリキュラム作り」

冬期講習提案書に「中学入学後は～」の言葉

# ◆ 高校生の冬期講習

※高校生教材の特徴をよく知る。

新規問合せは、相手の要望に瞬時に答えられる（適切な映像を出す）ようにすること。

## ■ 高 1

- ・ 夏休み明けの定期テストは大きく成績を落とす。

⇒ 卒塾生への定期テスト対策のDM

理系…物理・生物の問題集（後述）

数学…「ASSIST PLUS」で出題単元の重点学習

英語…「英文法 2 0」「英語構文 8 0」は易しいテキスト。

やっていない子は躓いている可能性大。取り戻すのは今！

古典…助動詞の基礎を学べる短期講座。

## ■ 高 2

- ・ 高 2 の夏に予備校に行っていない人は、スタートとして出遅れている。

受験対策へ向けた学習喚起のDM

⇒ 各科目とも通年テキストをしっかりと行う。

# ◆ 高校生の冬期講習



授業の理解から入試対策まで

## よくわかる 生物基礎 問題集

巻頭 甲治 東京大学大学院理学系研究科教授



授業の理解から入試対策まで

## よくわかる 物理基礎 問題集

小牧 一郎 東京大学名誉教授・理学博士  
右近 修治 神奈川県立高等学校教諭  
長谷川 大和 東京工業大学附属科学技術高等学校教諭  
清水 恵子 鎌倉学院中学校高等学校非常勤講師

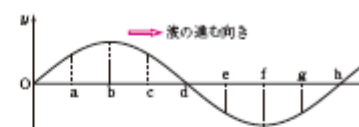


### 基本問題

解答・解説は別冊 p.24

#### 重要例題 15 縦波の媒質の振動(疎と密)

図は  $x$  軸の正の向きに進む縦波を表す。 $y$  は変位、 $x$  は位置を表す軸である。 $a \sim h$  は振動していないときの媒質の位置を示す。このとき、次の問いに答えよ。

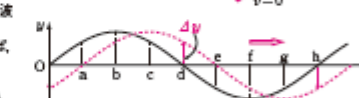


- (1) 媒質の振動の速度が 0 なのは  $a \sim h$  のどれか。
- (2) 媒質の振動の速度が  $x$  軸の正の向きに最大なのは  $a \sim h$  のどれか。また、媒質の速度が  $x$  軸の負の向きに最大なのはどれか。
- (3) 図の縦波の最も密な部分と、最も疎な部分はどこか。 $a \sim h$  を用いて答えよ。

考え方 (1) 振動の両端にいるときに速度 0。

(2) 振動の中心を通るときに最も速い。向きは、右図のように波を進む向きに移動させて、変位が正か負かで判断する ( $v = \frac{\Delta y}{\Delta t}$ )。縦波では  $\Delta y > 0$  なら、変位を  $x$  軸に移動すれば、 $\Delta x > 0$ 、 $v$  は正である。

(3) p.40 の 15 のように変位を移動して調べる。

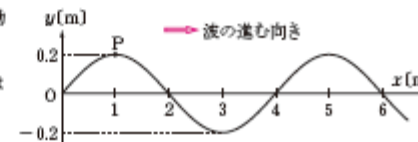


- 解答 (1) 振動の両端にいる(変位の大きさが最大の)媒質なので  $b$  と  $f$  ..... 〇  
 (2) 振動の中心にいるのは  $d$  と  $h$ 、このうち  $\Delta y > 0$  ( $\Delta x > 0$ ) で  $x$  の正の向きに最大なのは  $d$  ..... 〇  
 $\Delta y < 0$  ( $\Delta x < 0$ ) で  $x$  の負の向きに最大なのは  $h$  ..... 〇  
 (3) 変位の移動をしてみると、最も密なのは  $d$ 、最も疎なのは  $h$  ..... 〇

#### 66 波の基本

図の波の山 P が  $x$  の正の向きに 0.50m 移動するのに 0.10s かかった。

この波の波長、伝わる速さ、振動数、周期はそれぞれいくらか。



# ◆継続を意識する

---

2月の継続案内で、次学年の通塾を促しても、ご家庭は結論が出ている。**サービスの視覚化**

★今日の勉強会の日から冬期講習までの内容が勝負

- ①学習態度の変容
- ②成績の向上（実力テスト 定期テスト 検定合格）
- ③入試結果
- ④学習意識の変容